

レジメン名 GS療法

出典 ジェムザール適正使用ガイド 2020年8月作成
 ティーエスワン適正使用ガイド
 Ueno, H. et al: J. Clin. Oncol., 31 (13), 1640 (2013)

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患
 膵がん
進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準(ゲムシタピン)

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	2.5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満		
その他	発熱性好中球減少症、Grade3又は悪化の発疹 減量方法: 800mg/m ² へ減量		

投与減量の基準(ティーエスワン)

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	2.5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満	GCr	60mL/min未満
その他	発熱性好中球減少症、Grade3以上の下痢、口内炎、発疹 減量方法: 100mg/日→80mg/日→60mg/日→中止		

投与中止の基準

WBC	2000/mm ³ 未満	PLT	7万/mm ³ 未満
ANC	1000/mm ³ 未満	AST/ALT	150IU/L以上
T-bil	2mg/dL以上 ^{※1}	発疹	Grade3
その他	GCr30mL/min未満 ^{※2} 、Grade2以上の下痢または口内炎: ティーエスワンを中止 ^{※1} 胆道ドレナージが行われた場合は3mg/dL以上		

1クール期間 21日 総クール数 PDまで
 (次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ゲムシタピン	1000mg/m ²	5%糖液100mL	15分	d1, 8
ティーエスワン	BSA < 1.25m ² : 60mg/日 1.25m ² ≤ BSA < 1.5m ² : 80mg/日 1.5m ² ≤ BSA: 100mg/日		経口 朝夕食後	d1タ-15朝
^{※2} 腎機能によるティーエスワン初回基準量 80 > CCr(mL/min) ≥ 60: 必要に応じ1段階減量 60 > CCr(mL/min) ≥ 30: 原則として1段階以上の減量(40未満は2段階減量が望ましい) 減量方法: 100mg/日→80mg/日→60mg/日→中止				

1日投与順
 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、
 溶解液まで含む)

day1, 8
 ① グラニセトロン3mgバッグ(15min)^{※3}
 ② ゲムシタピン1000mg/m²+5%糖液100mL(30min)
 ③ 生食50mL(フラッシュ用)

^{※3} 膵がんにおいては耐糖能異常をきたしや
 ずいことからデカドロン抜きで登録とする。

Day1タ-day15朝
 <内服>
 ティーエスワン(BSAに応じた投与量)分2 朝夕食後